

令和4年度 子ども部会 報告

1. 部会開催状況

	開催日	時間	協議事項
1	5月17日(火)	10:00	子ども部会運営・今年度の活動について Zoomと参集にて
2	7月19日(火)	10:00	○関係機関との連携について ・福祉と教育の連携について Zoomと参集にて
3	9月20日(火)	10:00	・保育と療育の受け入れの在り方について Zoomと参集にて
4	11月15日(火)	10:00	・医療的ケア児の支援について Zoomと参集にて
5	1月17日(火)	10:00	配慮を要する家族への支援と連携
6	3月14日(火)	10:00	今年度の活動まとめ及び次年度に向けて

2. 部会から見てきた始良市の課題等

○保護者の感じる困り感と学校での困り感にギャップがある事案等に対して保育所等訪問事業や相談事業の担当者会議など事業の理解を促進していく必要がある。ふれあい教室、フリースクール、通信制など学びの場の多様性が認識されるようになり連携が必要になると考えられる。

○保・幼・こども園・療育機関にアンケートを取らせていただき、子供さんの事に関して担当者で話し合いがしやすい時間帯、意見集約などの共有をおこない、書面での提供については始つくファイルの利用を促進する。紹介状を利用する事での医療との連携、診断の活用について共有を行う。子ども発達支援に関するシートについてモデル事業を行なった結果、子どもの特性等について共通理解ができ、グラフ化できるので分かりやすい、保護者、関係機関と成長を認識しやすく、振り返りが図りやすい、時間がそれほどかからないとの意見があり、始良市の園に配布を行う。今後の活用を検証していく。

○園が医ケア児保育支援の補助事業を受けるにあたっての流れについて確認。出生病院からの引継ぎ、フォローについて確認。医ケア児の卒業後の行き先についてアンケート調査をおこない見通しをつける。課題として土日の入浴、ショートステイ、レスパイト先、緊急時、災害時の受け入れ先が無い。入園を希望するときに保護者が探し回らなければならない。入園する際に園に訪問看護の利用ができないかとの意見がある。

3. 研修会

開催日	内 容
1 月 2 1 日	医療的ケア児等の支援及び関係機関の受け入れの現状について

研修会内容

○医ケア児を預かっている保育園、訪問看護事業所、重心対応児童発達支援事業所・放課後等デイサービス事業所、学校教育課、加治木養護学校、医療的ケア児アドバイザーによるシンポジウム形式で現状についての報告

- ・園では子供たちが手話を覚えたり思いやりの心が生まれるとの話があった。
- ・訪問看護ではお母さまと近いので話し相手、相談相手として寄り添える面もある。
- ・児発放デイ事業所では出来ないからではなく、出来るにはどうするかのアセスメントを取る。
- ・学校関係者からは、医ケア児という言葉だけが独り歩きして本氏を見ないと分からない面があるので早めに相談してもらい、関わる必要性を話されている。